



ロータリー：
変化をもたらす

《第2530地区活動目標》

- 1.各クラブへのサポート強化
- 2.人道的奉仕の重点化と増加
- 3.ロータリー公共イメージと認知度の向上
- 4.RI会長賞に挑戦しよう
- 5.ロータリー財団への協力
- 6.米山記念奨学会への協力

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 鈴木邦典
 ガバナー補佐 佐藤吉弘
 会長 佐藤真也
 幹事 菅野浩司

四月は母子の健康月間

2017~2018年度 ◆例会日/木曜日12:30 ◆例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋

RI会長 イアン H.S.ライズリー 事務局/〒960-0282 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 Fax(024)542-3604

サンドリンガム・ロータリークラブ(オーストラリア)

28日:会長主催世界会議母子の健康と平和

通算

第37回 [2912] 例会報告 平成30年(2018)4月19日(木)

出席委員会報告

会員総数	38名
出席会員	28名
欠席会員	10名
出席率	73.68%

言行はこれに照らしてから

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか

◆開会点鐘 佐藤真也 会長

◆ロータリーソング [それでこそロータリー] 村上裕司 会員

◆四つのテストの唱和 中島定弘 会員



ロータリーソング 四つのテスト

◆お客様紹介 ㈱サン・ベンディング福島 日下部剛 様

【4月の奥様お誕生日】...♪♪♪ おめでとうございます。♪♪♪
 4月21日 堀切智子様(知之会員)

♪ 今週の誕生日 ♪♪♪♪ 4月15日 鈴木正実 会員 ♪♪♪♪

.....lunch time.....

◆会長あいさつ



昨日と一昨日は花ももの里でボランティアをしておりましたが、多くの方においでいただき、これも安齋忠作会員はじめ皆様のご協力と毎年の剪定や摘花作業の賜物だと思います。園内も西山会員のご協力と整備され、皆様からご好評いただきました。今週末はいよいよお花見です。花見会場を生田目委員長にきれいに整備していただきましたので感謝申し上げたいと思います。今日はゲストに日下部様をお迎えしてライラ研修会のご報告をいただきます。宜しくお願いたします。理事会報告ですが、IMが5月12日に開催されます。また、家族同伴親睦旅行は5月27日28日にいわき方面に行く予定です。いよいよ記念式典が迫って参りました。皆様には当日に向けてご準備をお願いしたいと思います。6月7日は職場訪問として紺野容樹会員の丸中白土さんに見学をお願いいたしました。行事が目白押しですので皆様のご出席をお願いいたします。

◆次期幹事セミナー報告 村上裕司 次期幹事

4月16日に県北第二分区次期幹事セミナーに参加してきました。大橋パストガバナーが講師となり、幹事の心得等のお話をされました。2018-2019年の飯坂ロータリークラブの役員理事の役割表を本日お配りさせていただきました。お目通しただいて、役割の確認をお願いいたします。

◆幹事報告 菅野浩司 幹事

A. 来信

- ①ガバナーエレクト 平井義郎 氏より
 クラブ研修リーダー選任のお願いについて
- ②県北第二分区ガバナー補佐 佐藤吉弘 氏、
 2018-19年度 県北第二分区ガバナー補佐 渡邊 武 氏より
 「県北第二分区新旧会長・幹事会の案内」
 と き、6月12日(火) 18:00~ 次年度会長・幹事会
 18:30~ 現会長・幹事会

- ③ガバナー 鈴木邦典 氏より
 佐原元氏「RI超我の奉仕賞」受賞を祝う会
 と き、6月17日(日) 15:00~
 ところ、郡山ビューホテルアネックス
- ④「第38回RYLA研修会報告書」
 開催日 2018年2月24日~25日

B. メーキャップ報告

- 4/14 地区行事
- 4/15 分区親睦ゴルフ大会
- 4/16 県北第二分区次期幹事セミナー

佐藤喜市郎 会員
 鈴木義明、服部裕一、石川邦俊、千葉政行、渡辺達也、鈴木重忠、
 生田目正志、紺野容樹 各会員
 菅野浩司、村上裕司 各会員

◆スマイリングBOX 牧浦史幸 会員 【合計3-27】

篠木 勝司 会員 H 日下部さんにライラ研修会出席いただきありがとうございます！！
 堀切 知之 会員 H 長期欠席おわび 義母に弔電をいただき
 佐藤 真也 会員 S ゲストに日下部剛様をお迎えして、RYLAご参加ありがとうございました。中野会員のスピーチ楽しみにしております。
 千葉 政行 会員 S ①ライラに参加させて頂きありがとうございます。今日は宜しくお願致します。②ゴルフコンペ楽しくやってきました。
 安齋 忠作 会員 S 中野哲郎会員のスピーチたのしみしています。
 中山 友幸 会員 S スピーチさせて戴いて
 西山 友幸 会員 T 中野会員のスピーチ楽しみます。
 村上 裕司 会員 T 本日の中野会員のスピーチ楽しみにしております。宜しくお願いたします。
 鈴木 義明 会員 T 中野様のスピーチたのしみしています。



【RYLA研修会の報告】

ご紹介 千葉政行 会員 ライラ委員長からお話があり、うちの日下部に話したらぜひ行きたいということで、入社して14年ですが非常に積極的で先輩を押しつけ副所長に就任したばかりです。まだ今年で34歳ですが、これからも外部研修に出たいという話も出ておりますので話を聞いてみて下さい。

研修会の報告 日下部剛 様 はじめに、例会にご招待していただきありがとうございました。それでは研修会のご報告をいたします。まず、グループディスカッションでは、私はCグループのリーダー長をやらせていただきました。このグループでは、はじめに自分の考える理想のリーダーについて意見を出し合いました。その中で、しっかりコミュニケーションが取れる人が理想のリーダーなのではないかという意見が多く出ました。では、どういったコミュニケーションの取り方が理想なのか。それは思いやりの心を持ち、相手の立場に立ってコミュニケーションを取っていくことで、周りのみんなと信頼関係が築ける理想のリーダーになれるのではないかと思います。個人の感想ですが、初めて参加させていただき、色々な職種の方々とのコミュニケーションを取っていくうちに、良い刺激となり楽しく研修会に臨むことが出来ました。また、講演を聞いて自分の考え、生き方を考えさせられた内容でした。特に篠木社長の「福島が笑えば世界が笑う」の講演では、私の会社でも“全ての行動に笑顔を添えて”を会社のスローガンに取り入れており、共感出来る講演の内容でした。今回参加して学んだ事やお知り合いになった研修生、ロータリークラブの皆様との出会い、交流を今後の人生の糧とし生かしていきたいと思っております。ありがとうございました。

◆ 会員スピーチ

職業奉仕副委員長 中野 哲郎 会員



このように大勢の皆さんの前で話させていただくことは大変光栄でございます。70になり、そろそろ自分を振り返り、自分の歴史を書くような年だと思っておりますが、自分史の原稿を書く気持ちでお話させていただければと思います。

古代インドにおいては人生を語る時、人生の段階を4つに分けてお話をするということがあります。一つは生まれてから**25歳までが学生期**。次は**25歳から50歳までを家住期**。その次が**50歳から75歳で林住期**。そして、**遊行期は75歳から100歳まで**です。これらの線に沿って、自分の人生を申し上げたいと思います。生まれは飯坂温泉の小さい旅館でした。お寺の隣にあり母が切り盛りしておりました。母は「出迎え上手、見送り上手になりなさい」と言っていたそうです。これは小売りの商売に通ずるものがあると思います。また、父は学校の教師をしており、自分の事を自らべらべらしゃべるなど、**他の人が自分の事を話してくれるように一生懸命勉強して良い人間になりなさい**と指導してくれました。大人になってからも、父と母の言葉が私の心の方向性を示してくれていたと思っております。25歳を過ぎてから、海外で仕事をしたいという希望があり、三井物産に入社いたしました。当時の商社はいわゆる**コミッション・マーチャント**のような口銭商売の商社でしたが、今や商社は事業会社であるということになっております。ターミナルやタンク、リファイナリー、原油の掘削、エネルギーの開発等を行って、それらを自分のものとし、お客様に提供する製造業者であり、事業会社であるということになってきております。ひとつ記憶に残っている事は、アジアで商売を展開するということになり、私が稟議書を書いて回して判子を押していただき、シンガポールの会社で社長を命じられたのですが、良い事ばかりではなく悪い事も起こり、約数十億円の回収不能額が発生しました。何とか1年がかりで回収をして、そろそろ帰ってこいということで石油製品の貿易部長を命じられ、そして色々ありましたが、とある事情で責任を取って部長を辞任しました。人事問題に絡んでいて、格好良く言えば責任を取りました。そんな事がありました。

53歳になる頃に、三井物産を退職して福島に戻りました。**インドという第3期にあたり**ますが、何をするかと考えていた時に、ある人から市会議員をやったらどうかと励ましのお言葉をいただき、本気になって市会議員になってしまいました。12年間3期務めさせていただきましたが、その中で印象深い事業は、やはり**都市再生事業**です。平成18年から23年度まで約30億円を投じて、飯坂の一部地域を再生するという事業がありました。ハード事業は出来たのですが、これからソフト事業だという矢先に東日本で複合大震災が起きました。展開すべきであるソフト事業がなかなか進まず頓挫をしてしまいました。また、思い出に残る事業は**サル対策事業**です。福島市政150年の歴史の中で議員の提案で出来た条例、サル餌付け禁止条例が、第二例目だそうでそれを策定いたしました。最後の記憶に残る事業は、**学童保育クラブ**です。学校近くの聚楽さんの社員寮の一部空きスペースをお借りして民間協力ということで、先生も経験者も必要ですので、お願いしてこれも民間協力ということで出来上がった事業です。この**3つが記憶に残った事業**です。そうして、体調を崩して議員を辞めたわけですが、今年70歳になりまして、**インドというところの第4ステージ**100年に向かって生きていかななくてはならないのですが、そのためには健康が第一だということで、出来れば健康寿命を延ばして100歳までお役に立てるように、迷惑が掛からないように生きていけたらと思います。インドでは生きて恩返しをする時期ですので、私も何らかの恩返しが出来ればと思うところです。

今までの話の中でやり残しという事があります。それは大震災からの復興ですが、昔から大きな災害からの復興は10年かかると言われておりますが、中通りが一番重要な風評被害の払拭があります。私から言わせれば震災前の事業に戻す復旧事業であると、復興事業のためには新たな価値や魅力を作って新たな街づくりをしなければならぬと思っております。都市再生事業でやり残したソフト事業の展開とその受け皿である新たな組織作り、今流行りの**TMO**や**DMO**を展開し、回遊性や滞在性を高めていくような事業展開が出来ないだろうかと考えております。また、大笹生インターチェンジとその周辺の施設をうまく活用し、人々が集まるような地域にしていかななくてはなりません。この地域には観光資源がいっぱいありますので、集約し連携し交流を増やしていくという事業が必要だろうと思っております。道の駅を食とショッピングのゾーンにして、コンシェルジュ機能を発揮出来るような施設にし、十六沼スポーツパークと大内社長のサーキット場、スカイパークを“**スポーツ and レクリエーションゾーン**”にするとか、摺上川ダムを活用するとか、アポロガスさんがやっている再生エネルギー、再エネパーク等々、ゾーリング化してお客様に見学していただくとか、フルーツラインと観光果樹園を結んだ“**フラワー and フルーツゾーン**”と称して、体験型のゾーンを作るとか、工業団地も出来ますので**インダストリアルゾーン**、**トランスポーターゾーン**とし、相馬地方からの海産物を輸送し、こちらでも消費出来るというようなゾーンも作るという、全部取りまとめてお客様に提供するという機能が道の駅に出来ればいいなとこんな事を考えておりますが、100歳まで生きられるように健康に注意してこれからも頑張りたいと思っております。その前提は、健康で人にご迷惑をお掛けしないというところで生きてみたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。以上、大変拙いスピーチでしたが終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。